

祝 辞

本日ここ海上自衛隊 第1術科学校大講堂において、第五十九期 一般幹部候補生課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程に御入校の皆様、本日は誠におめでとうございます。

これから皆様は、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、ここ江田島の地で、部隊を統率するための、高い教養と技能を身に付けるべく、錬成訓練を受けることとなります。国防の要を担う皆様をお迎えできることは、江田島市として大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、世界情勢に目を向けますと、令和四年に始まったロシアによるウクライナ侵攻はいまだ終結せず、我が国周辺においても北朝鮮によるミサイル発射が継続して行われているなど、依然として緊迫した状況が続いております。

こうした中、我が国の国防や、国際平和協力活動を担う自衛隊の皆様への期待は、より一層高まっていくものと予想されます。

皆様におかれましては、ここ江田島で、幹部候補生として、強い責任感と確固たる使命感をもって己を磨き、国民の負託に応え得る技量を身につけていただくことを、期待しております。

さて、皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十七年前、明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る六十九年間、共存共栄の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また、江田島市は、美しい自然に囲まれ、秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれており、四季折々には様々なイベントが予定されています。

厳しい訓練の合間にはこうした地域の催しにも御参加いただき、恵まれた自然や豊かな人情に触れ合いながら、江田島市との「縁」を紡ぎ「絆」を深めながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、ここ江田島市での皆様の生活が、実りある充実したものになりますことを、強く祈っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年六月十日

江田島市長 土手 三生